



謹賀新年

新年のご挨拶



広島県労働者福祉協議会
会長 久光 博智

あけましておめでとうございます。皆様には、清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、県労福協の諸活動へのご理解とご協力に感謝申し上げます。

さて、コロナ禍や甚大な自然災害を経験した私たちは、「助け合い・支え合い」「人とひとのつながり」の大切さを学びました。一方で、「今だけ・金だけ・自分だけ」(鈴木宣弘氏)と揶揄される自己責任論が広がりつつあり、平和を脅かす国際情勢の緊迫化や極端な気候変動を始め、少子高齢・人口減少、格差と貧困、社会的孤立など社会の持続性が問われています。同時に、物価高騰が家計を直撃するなど国民生活に深刻な影を落としています。

今年も国連が宣言した「国際協同組合年」を迎えます。2012年に続き2度目です。これは「誰一人取り残さない」SDGsの実現に向けた連帯経済の担い手としての「協同組合組織」に対する期待が国際社会においても高まっている証です。

今まさに「助け合い」・「共助」の輪を社会に根付かせるため、労福協運動、労働運動の果たすべき役割はいっそう大きくなっていると受け止めています。そして、価値観が多様化する中、世代を超えた新たなつながりや多様な団体との連携に挑戦し、そのネットワークを広げ、それぞれの強みやノウハウの最大化を目指すことが大切だと考えています。

広島県労福協は、創業の精神である「福祉はひとつ」の理念のもと「つながり・ひろがり・深掘り」を念頭におき、「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」の実現を目指してまいります。

そのため、労働組合と働く人が生み・育ててきた労働金庫やこくみん共済coop、労働会館など福祉事業団体が「ともに運動する主体」として関係を強化し、働く人が幸せと豊かさ(Well Being)を実感できる「労働者自主福祉運動」を力強く進めてまいります。

また、ライフサポートセンターでの生活相談をはじめ「勤労者・市民の拠り所」としての機能を発揮するため、行政や志を同じくする団体との連携を深めながら持続可能な「地域共生社会」づくりの一翼を担ってまいります。

中央労福協の元会長である笹森清氏の「同質の協力は和(足し算)にしかならないが、異質の協力は積(掛け算)になって、計り知れないパワーを発揮する」との言葉を改めて噛みしめたいと思います。

本年も広島県労福協に対しますご理解とご支援をお願い申し上げます。年頭のご挨拶いたします。

公共・福祉事業団体

年頭のあいさつ



労働者福祉中央協議会

会長 芳野 友子

新年明けましておめでとうございます。

日本経済全体が落ち込む中で、光熱費や食品など生活に直結する分野の値上げが続いています。このなかで、2024年の年間出生数は初めて70万人を割り込むことが予想され、最悪のペースで少子化が進行しています。さらには「健康で文化的な最低限度の生活」を保障するはずの生活保護費も段階的に削られ続けるなど、格差や貧困、社会の分断が深刻化しています。

このような今こそ、私たちは、生活困窮者支援の取り組みや、ライフサポート活動、子ども食堂の取り組みなど、地域の様々なネットワークで支え合い助け合う、地域共生社会の構築をめざした取り組みを、力をあわせて進めていかなければなりません。

高等教育の負担を軽減するについては、「すべての人が学べる社会へ 高等教育費負担軽減プロジェクト」の取り組みに結集し、「団体

賛同・個人署名」の取り組みを進めてきました。多くの方々にご協力いただきましたことに、心からお礼申し上げます。通常国会では大学等修学支援法の改正が見込まれています。私たちはこれを機に、修学支援制度の対象範囲の拡大など、高等教育の負担軽減をもとめて、取り組みを強化していきます。

また、今年国連の定めた国際協同組合年です。改めて労働者自主福祉運動や協同組合運動などの共助の輪を広げるとともに、NPOや市民団体などともつながり、持続可能な開発目標（SDGs）の実現に向けた協同組合の実践、社会や経済の発展への協同組合の貢献に対する認知を高める取り組みを、ともに進めていきたいと思います。

最後になりますが、2030年ビジョンにおいて確認した「貧困や社会的排除がなく、人と人とのつながりが大切にされ、平和で、安心して働きくらす持続可能な社会」を実現するための取り組みを、組織の枠を超えて、労働者自主福祉の取り組みを展開していくことをお誓い申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

以上



広島県知事

湯崎 英彦

明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、清々しく新しい年をお迎えることと、心からお慶び申し上げます。

さて、本県では、「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」に掲げる目指す姿の実現に向けて、令和7年度は、人口減少や少子化・高齢化の進展、急速なデジタル化への対応などの構造的な課題や緊迫した国際情勢、物価高騰などの社会情勢に適切に対応し、将来にわたって本県が活力を維持し持続可能な未来を切り拓いていくため、これまでの取組やその

成果を基盤に限られた経営資源を有効に活用して施策の「選択と集中」を徹底するほか、県民が抱く様々な不安を軽減し「安心」につなげ、県民の「誇り」を高め、県民一人一人の「挑戦」を後押しする取組や特性を生かした適散・適集な地域づくりに着実に取り組んでまいります。

皆様におかれましては、今後とも、本県行政への御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

新年の門出に当たり、広島県労働者福祉協議会のみまますの御発展、並びに、会員の皆様の御健勝、御多幸を祈念しまして、新年の御挨拶といたします。



広島県市長会(広島市長)

会長 松井 一實

年頭に当たり謹んで御挨拶を申し上げます。皆様におかれましては、平素より勤労者の生活と福祉の向上に尽力されていることに深く敬意を表します。

さて、2000年代に入り、早や25年が経過しました。この間、東日本大震災や西日本豪雨災害など幾多の災害、コロナ禍など重大な危機事案が発生し、国・地方自治体では、災害復興や感染症対策を始め、住民の安全や安心の確保を第一に鋭意対策を進めてまいりました。

そうした中、改めて実感したことは、人と人のつながりや支え合うことの大切さです。

人口減少問題が大きな課題となる中、我々自治体としては、抜本的な少子化対策に取り組むことに加え、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、お互い様の心が根付き、多様な主体・世代が共に連携して地域コミュニティを維持していくことが極めて重要であると考えています。

引き続き、未来を見据えながら、地域共生社会の実現を図るべく、全力で取り組んでまいりますので、皆様には今後ともお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様の御健勝と御多幸を心より祈念いたしまして、新年の御挨拶といたします。



広島県町村会(坂町長)

会長 吉田 隆行

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

皆様におかれましては、日頃より労働者福祉の向上にご尽力を賜っておりますことに、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年の我が国の状況は、元旦に発生した能登半島地震を皮切りに、全国的な豪雨や台風の発生、南海トラフ地震臨時情報の発表など、幾多の自然災害に見舞われた年でした。

一方で、我が国の景気動向はゆるやかに回復しており、今後も雇用・所得環境の回復が

続くことが期待されていますが、依然として物価は高騰しており、住民生活に様々な影響を及ぼしております。

地方行政を預かる私たちとしましては、住民が住み慣れた地域で将来にわたって安心して暮らせる持続可能な地域社会の実現に向け、激甚化する自然災害への対応をはじめとした諸課題に全力を挙げて取り組んでまいり所存でございますので、本年も引き続き皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、この新しい年が皆様にとりまして輝かしい年となりますよう祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。





連合広島

会長 大野 真人

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、連合広島の諸活動に対しご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

私たち勤労者を取り巻く環境については、継続している物価高や加速する少子化をはじめ、頻発する自然災害・カーボンニュートラル・エネルギー問題、平和問題など、乗り越えなければならない多くの課題が山積しています。日本社会や産業構造のあり方や働き方も大きく変わろうとしています。

こうして迎えた2025年、私たち連合広島としては、将来に向けて、包摂的で持続可能な地域社会の実現に向けて取り組むことが重要と認識しています。そのためにも、春季生活闘争や、すべての働く仲間・生活者が抱えている不安を払拭するための政策課題の実現にむけて取り組みを強化してまいります。

また、労福協の理念となる、すべての働く人の幸せと豊かさをめざした、連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会に向け、広島県労福協に集う仲間の皆様と連携を図りながら、運動を推進していく所存です。

2025年が、輝かしい1年となりますように、共に歩みを進めて行きましょう。



中国労働金庫 中部エリア営業本部

本部長 善積 昭之

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、広島県労福協会員の皆様には、中国ろうきんの事業推進に対しまして、格別なご支援・協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、2024年度も残り3か月となりました。今年度の事業計画の達成に向けて、厳しい状況になっておりますが、県内ろうきん役職員一体となって、一生懸命に取り組んでいきますので、広島県労福協会員の皆様の力強いサポートを、どうか、よろしく願いいたします。

迎える2025年4月からは、中国ろうきんの新たな店舗戦略として、業容拡大ブロックがスタートします。また、会員組織の皆様をお願いさせていただいています事務の業務改革も進めてまいりますので、県労福協会員の皆様の引き続きの力強いご協力・ご支援をよろしく願い申し上げます。

結びに、2025年が広島県労福協会員の皆さまとご家族にとりまして、輝かしく素晴らしい年になりますことをご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。





こくみん共済 coop 広島推進本部

本部長 寺戸 裕司

新年明けましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、よき新春を迎えられたことと謹んでお喜び申し上げます。

さて、昨年発生した令和6年能登半島地震をはじめ、近年多発化・激甚化する災害は私たちの暮らしの土台である「安全・安心」を脅かす大きな要因となっております。そのような中、昨年12月をもって組合員の皆さまに支えられ、弊会の原点である住まいる共済が70周年の節目を迎え、風水害の実損害額保障など組合員の皆さまの声を元にした改定を実施し、理念である「みんなで助け合い、豊かで安心できる社会づくり」の実現へ向けた新たな一歩を踏み出しました。

これからも組合員の皆さまの期待に応え、お役立ちに繋がるよう職員一同力を尽くしてまいります。

本年も一層のご支援とご協力をお願いいたしますとともに、新年が皆さまにとりまして輝かしい年となりますことを心よりご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



一般社団法人
広島県労働会館

理事長 中山 悦己

新年明けましておめでとうございます。

初春の候、皆様には健やかに新年をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。

広島県労働会館は、統合以来、厳しい事業環境の中で経営の効率化を図りつつ、「勤労者の集える場を提供する」ことを目的に会館事業の運営に努めてまいりました。厳しい経済環境ではありますが、会員の皆様の温かいご支援とご協力に支えられ、着実に前進し業績にも明るい兆しが見え始めていることに、心より感謝申し上げます。

また、昨年発生した能登半島地震により被災された方々に、改めてお見舞いを申し上げます。一日も早い復興と平穏な日々が戻ることをお祈りいたします。

本年は「巳年」。巳は「実り」を象徴する干支であり、忍耐強く着実に成長する姿を表すとも言われています。この精神を胸に刻みながら、私たち広島県労働会館もさらなる発展を目指して、「勤労者の集える場を提供する」という使命をより一層果たし、勤労者福祉の向上に尽力する所存です。

2025年が皆様にとりまして、希望と実り多き一年となりますよう祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



広島県生活協同組合連合会

会長理事 **岡村 信秀**

2025年“被爆80年”“国際協同組合同年”

明けましておめでとうございます。本年は“被爆80年”、そして“国際協同組合同年”です。

戦争と核兵器は平穏な日々の暮らしを土台から崩し、子どもの夢や希望を奪い去ります。平和だからこそ得られるかけがえのない日常と家族の絆。生協の平和活動の原点はまさにここにあり。そして生協の平和活動において大切にしたい視点は、①生命の尊厳と人間らしく生きる権利は、すべての人間に共通する基本的価値、②1人1人の価値観や多様な考え方を認め合い、他人への配慮と人間としての優しさの心、③地域の中で、思想信条を乗り越え、多様な個人や団体のネットワーク的連帯です。

国連はSDGsの推進に当たって協同組合は貧困・飢餓の解消、食料安全保障、社会的包摂など社会システムの様々な発展において大きな役割を果たしていることを評価し、本年を二度目の「国際協同組合同年」と決めました。県内においては広島県協同組合連絡協議会（HJC：JA、森林組合、生協、ワーカーズなど12団体）を中心に「平和と地域コミュニティの再生」をテーマに取り組みます。

国連はSDGsの推進に当たって協同組合は貧困・飢餓の解消、食料安全保障、社会的包摂など社会システムの様々な発展において大きな役割を果たしていることを評価し、本年を二度目の「国際協同組合同年」と決めました。県内においては広島県協同組合連絡協議会（HJC：JA、森林組合、生協、ワーカーズなど12団体）を中心に「平和と地域コミュニティの再生」をテーマに取り組みます。

地区会長

年頭のあいさつ



大竹・廿日市地区労福協

会長 **迎 尚樹**

新年あけましておめでとうございます。

大竹・廿日市地区労福協は、福祉事業体とともにハツラツとした組織を目指し、従来の福祉のカタチを大切にしつつも、福祉の成長を意識した新たな繋がりへの創出に向けた挑戦もしていく年にしたいと思います。

本年も皆様のご協力を宜しくお願いいたします。



広島西地区労福協

会長 **谷口 英男**

明けましておめでとうございます。

広島西地区労福協では、会員の皆様と事業団体とのコミュニケーションや会員の皆様への情報発信などによって、働く仲間が連携して助け合う“共助”から、その連携をあらゆる垣根を超えて広げていく“多助”が活躍する連帯社会の構築に向け、努めて行きたいと思っております。

本年もどうぞ宜しくお願い致します。



広島中央地区労福協

会長 **後藤 孝秀**

新年あけましておめでとうございます。

広島中央地区労福協では、2023年度に広島支部・広島南支部を解消し役員体制も一本化することで活動の強化を図って参りました。更に今年度は県労福協の活動の基調に沿い、「一人は万人のため、万人は一人のため」の理念のもと会員相互の協同と連帯を深め広められるよう努めていきたいと思っております。

本年も皆様方のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



広島東地区労福協

会長 **相原 博**

新年あけましておめでとうございます。

広島東地区労福協では、例年通りの活動に加え、より会員様のためになることはできないか？といった目線で、新たな取り組みを検討・実施しております。これからも、労働者福祉協議会の理念でもあります「福祉はひとつ」のもと、勤労者福祉向上に向け、福祉事業団体と連携して活動に取り組んでまいります。

本年も皆様方のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



呉地区労福協

会長 阿久根 孝

新年あけましておめでとうございます。

本年も福祉事業団体と労働組合が連帯・共同の輪を広げ労福協運動の活性化に向けて、地区運営と各種活動の推進に務めて参ります。

引き続き皆様のご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。



三原地区労福協

会長 橋詰 文貴

～仲間と共に運動し、心豊かな幸せを！～

新年明けましておめでとうございます。

本年も『福祉はひとつ』を合言葉に、福祉事業団体と労働組合との「ともに運動する」関係を強めていながら、地区労福協としての役割・機能が発揮していけるよう、地区役員との横の連携を密にし、会員組織と共に労働者自主福祉運動の推進に努め、心豊かな幸せづくりに尽力して参ります。

引き続き皆様のご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。



福山地区労福協

会長 木村 英明

新年あけましておめでとうございます。昨年福山地区において広島県労働会館「みやび」にこくみん共済coopが新たに移転し、一昨年リニューアルオープンした中国労働金庫福山支店とともにワンストップで利用出来るようになり、多くの来訪者で賑わっています。引き続き地区労福協の活動拠点として、皆様方への情報発信に努めて参ります。



備北地区労福協

会長 原 勝明

新年あけましておめでとうございます。賃上げ状況は拡大していますが、物価高騰や国際情勢など、わたしたちの暮らしを取り巻く不安要素は日々変化

しています。

福祉事業団体と連携して地域に根ざした会員交流活動を展開し、「つながり」を大切にした勤労者福祉の充実をめざしていきます。

今年もよろしく願いいたします。



賀茂豊田地区労福協

会長 田部 洋治

新年、明けましておめでとうございます。

本年も、「福祉はひとつ」という精神で、県労福協をはじめ、労働福祉事業団体と連携を取り、構成組織と一体となった活動を皆さんと共に進めてまいります。

労働者福祉の向上の為、共助の輪を広げ支えあえる社会の実現に向け、引続きのご支援・ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。



尾道地区労福協

会長 神尾 雅志

新年明けましておめでとうございます。

労働者福祉の原点は、地区における諸活動と勤労者相互の連帯強化にあるとの認識のもと、福祉事業団体をはじめとした関係者の皆様と連携し、地域に根ざした活動に取り組みました。

本年も、地区での活動を通じて労働者福祉の向上に一層取り組んでいきたいと考えています。皆様方の引き続いてのご支援、ご協力をお願いいたします。



府中地区労福協

会長 西林 弘泰

あけましておめでとうございます。昨年は労働組合を中心とした頑張りにより、大幅な賃上げと労働条件の改善を勝ち取ることができました。それでも物価上昇に応じた賃上げとはなっておらず、厳しい生活は続いています。引き続き労働者自主福祉運動の重要性は高まっています。新年も労福協の活動を地区から盛り上げていきます。今年もよろしくお願い致します。



HIROSHIMA 労福協 2025年お年玉クイズ

クイズの正解者の中から、抽選で20名様に、
3,000円の**ギフトカード**を進呈！

問題 下記の①～⑤の問題文の（ ）に入る言葉は？

- ① 県労福協＝働く人が幸せと豊かさ（ ）を実感できる…
A. good condition B. Well Being C. human being
- ② ろうきん＝迎える2025年4月からは、中国ろうきんの新たな（ ）として、…
A. 店舗戦略 B. 経営戦略 C. 営業戦略
- ③ こくみん共済＝弊会の原点である（ ）が70周年の節目を迎え…
A. マイカー共済 B. 住まい共済 C. 火災共済
- ④ 連合広島＝連帯・協同でつくる安心・共生の（ ）に向け…
A. 日本社会 B. 地域社会 C. 福祉社会
- ⑤ 広島県労働会館＝（ ）し業績にも明かるい兆しが…
A. 一緒に前進 B. 確実に前進 C. 着実に前進



ヒント：それぞれ代表者の挨拶文の中にあります。

●クイズの応募は、「広島県労福協」のホームページから

URLは、<https://hiroshima-rofuku.net/> 広島県労福協

締め切りは、2025年2月7日(金)。

当選者は、「広島県労福協」のホームページおよび機関紙4月号に掲載し、賞品を発送します。



教育費負担軽減・奨学金制度改善に向けたアピールへの団体賛同・個人署名をお願いいたします!!

今、私ができること。 今、お父さんができること。

高等教育費の負担軽減を

1 授業料を半額に

2 大学等 修学支援制度の拡充を

3 奨学金返済の負担軽減を

Onlineで声を聴けよう

公的負担の大幅拡充を!

私たちのアクションにご参加ください!

団体賛同・個人署名はこちらから

最終集約 2025年1月31日(金)

労働者福祉中央協議会